



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)  
11月5日  
月曜日  
第103号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail: kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 静岡県教育委員会 新委員長の紹介



教育委員の互選により委員長に選任され、2年にわたる金子容子委員長からバトンを引き継ぎました。任期は平成24年10月19日から1年間です。

高橋 尚子 富士市在住

### 委員長より一言

保護者委員として初の県教育委員長になりました。家庭教育支援をより大切にし、有徳の人づくりを進めていきたいと考えています。休日など時間のあるときは、気分転換も兼ねて手間ひまの掛かる料理を愉しんでいます。皆様よろしくお願ひします。

## 学校も地域も

学校支援地域本部事業の成果として、子どもたちの学びが深まったことや、多くの大人と関わり



横山崇智 コーディネーター

コミュニケーション能力

### 「学校支援地域本部」

学校支援地域本部事業がスタートして5年目。現在、17市町で19本部が設置されています。対象校は小学校64校、中学校26校になり、年々増えていきます。地域の力を学校に取り入れて、「本物との

### 年々増える

「学校支援地域本部」は、8月に県内5か所で、学校支援に携わる行政と学校、地域の代表者が集まり、「学校・地域の連携推進研修会」を開催しました。そこで発表していたいただいた学校支援の取組です。

「地域」の学校だから、「子どもたちのためなら」という気持ちで力を尽くしてくる多くのボランティアが学校を支えています。

### 「元気な学校」づくり

学校と地域の連携を推進していくためには、各学校での教職員の理解や学校の求めに応じて地域全体を巻き込んだ支援活動などがポイントになります。

### 地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり

「子どもたちの目の輝きが変わった!」「あいさつがしっかりできるようになった。」これは、学校支援地域本部を設置している学校からの声です。

### 地域が解決

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。



子ども防災教室(裾野市立南小学校)

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。

### 学校からの要望を

学校からの要望をコーディネートする横山崇智さんが情報発信することで、地域の方々が素早く反応してくれています。



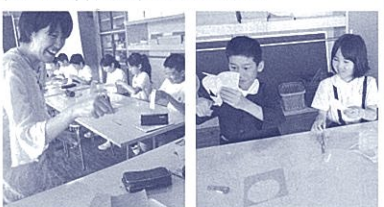
登校見守り(裾野市立南小学校)

### 【社会教育課】

	派遣事業	巡回公演事業
芸術家の人選	学校が指名する芸術家(プロ・アマを問わない)	文化庁指定のプロの芸術団体
派遣規模	個人または小グループ	芸術団体(劇団・交響楽団など)
派遣芸術家例(24年度)	・草間路代(邦楽) ・戸上真里(ヴァイオリン) ・すかまん(バンドマイム)	・日本フィルハーモニー管弦楽団 ・大蔵流 千五郎家 茂山狂言会 ・劇団ひまわり
申請の手続き等	学校が芸術家に直接依頼し、日程等を調整の上、県文化政策課へ申請する。採択率は100%	県文化政策課への申請時点では、日程調整等は不要。希望する芸術団体を第2希望まで指定し申請する。作成する申請書類が少なく、手続きが容易だが、採択率は平均54%(オーケストラ19%、児童劇67%など団体により差あり)
対象学校	小・中学校、高等学校、特別支援学校	小・中学校、特別支援学校
費用負担	学校の費用負担なし	

### 【事例紹介(派遣事業)】 水口千令(紙切り作家)／熱海市立桃山小学校

6月18日(月)、19日(火)、伊豆市修善寺で紙切り作家として活動している水口さんが桃山小学校を訪れ、図画工作の授業の一環で紙切り教室を行いました。初日の切り絵の実演では、全校児童がその技術に驚き、作品を食い入るように見つめていました。後半の実技指導では、子どもたちが思い思いの作品を切り、家に帰ってから切り絵をする子が多かったそうです。



### 【事例紹介(巡回公演事業)】 東京フィルハーモニー管弦楽団／裾野市立東中学校

1月16日(月)、東中学校体育館に東京フィルハーモニーがやってきました。約80人で編成する楽団による庄巻の生演奏の後は、1年生の生徒4人が指揮に挑戦。堂々とした指揮ぶりに、500人超の全校生徒と保護者から拍手喝采が上がりました。そして最後は、2か月間練習してきた合唱曲「マイパワード」と校歌を、楽団の演奏と指揮で合唱。体育館が感動と興奮で包まれました。



## 学校にアーティストを呼ぼう

### 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」

大人になってあらずじや旋律は忘れてしまつても、子どもの頃に観た演劇や音楽が、記憶の隅にイメージとして残り続けているという経験はありますか？

子どもの感受性は、大人のを凌駕します。子どもの頃に上質な芸術作品を鑑賞することは、審美眼を養うだけでなく、「発想力」や「コミュニケーション能力」といった、劇団や楽団など

「生きる力」の成長を促すと考えられています。そこで、県では、優れた芸術団体(芸術家を学校に派遣し、ワークショップ等の実技指導を交えた公演を行う「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を実施しています。

この事業には、個人または小グループの芸術家が学校を訪れ、ワークショップ等を行う「派遣事業」と、劇団や楽団など

### 平成25年度公募スケジュール見込み

時期	内容
24年11月上旬	公募開始
12月上旬	公募締切
25年 3月	内定通知
4月1日～	派遣事業実施
9月1日～	巡回公演事業実施

の芸術団体が学校を巡回し、公演を行う「巡回公演事業」の2つのメニューがあります。いずれも、学校が経費を負担しない。また、今年度から、S-PAC(静岡県舞台芸術センター)の俳優を学校に派遣し、演劇体験を通じて「相手と伝わる言葉」を身に付けるワークショップなど、声や身体の使用方を学ぶ様々なプログラムを用意しています。小学校から高校まで、課程に応じた内容を企画できますので、お気軽にお問い合わせください。

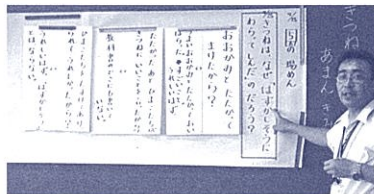
県文化政策課  
054(221)3340



実践NOTE 205

# 「関わり合って読みを深める子」を目指して

吉田町立自瀧小学校 教諭 西田 秀男



学習課題の提示

本校では、今年度、国語科を窓口教科として「関わり合って読みを深める子」というテーマを設定し、学術的な文章の読みを中心とした校内研修を進めています。

研修を進めるに当たっては、「関わり合う」「読みを深める」「活用する」という三つの柱を立てています。

## 関わり合う



自然な関わり

子ども同士が関わり合うために、「子どもが関わりたくなるような発問」を意識して単元を構想するようにしています。

構想にあたっては、物語文を読んだ子どもに、どんな興味や疑問が生ま

れるのかを予想します。それらを基に、子どもたちの多様な考えが出てくるような学習課題を設定します。自分とは違う考えに出会ったとき、子ども同士の間合いはよくなります。

こうすることで、相手の考えをもっと知りたい、自分の考えをもっと伝えたいという子どもの表れが増えてきました。

## 読みを深める

具体的には、子どもの考えがどうなれば「読みが深まった」と言えるのかについては、意外に曖昧です。そこで、本年度は子どもが「読みを深めた姿」とは、どのような姿なのかを具体的に構想す

ることにしました。「考えた根拠が増える」「根拠持った単元に臨めること」など、読みを深めるには、必ずしも一つではありません。

大切なのは、その子の考えがどのように変わったのかを、子どもの言動から教師が見取っていくことです。その子の考え、そして、教師が願う子どもとの姿を明確にすることによって、その子にどんな投げ掛けや支援が必要なのかが見えてくること



もっと聞きたい、もっと伝えたい

が分かってくると思います。

これまで研修を進めてきて、単元構想の重要性や、「関わり合う」「読みを深める」ための基礎・基本となる力の育成の重要性が改めて浮かび上がってきています。課題が明確になることは、大きな成果の一つでもあります。今後も、課題の解決に向けて、一步一步、研修を積み重ねていきたいと思います。

「授業の中で習得した力を、単元のどこで、どう活用させるか」を考えていくためには、「その単元で付けた力は何か」「付けた力を単元のどこで、どのように習得させていくか」を私たちが具体的に構想していく必要

があります。

「授業の中で習得した力を、単元のどこで、どう活用させるか」を考えていくためには、「その単元で付けた力は何か」「付けた力を単元のどこで、どのように習得させていくか」を私たちが具体的に構想していく必要



自分の考えを持つ

## 終わりに

要がありま す。そして単元を通してどのよう な力を付けるのかを、導入段階で子どもに伝えます。そのことによつて、子どもは、明確な目標を持ち、何を手掛かりにして考え

実践NOTE 206

# 学校事務職員として私にできること

三島市立沢地小学校 主事 向笠 樹里



子どもとのコミュニケーション

私が事務職員として働いて3年が経ちました。最初の2年は仕事を覚えることだけで精一杯でしたが、初めての転勤を経験した今年になってからは事務処理だけでなく、子どもたちの姿を思い描きながら仕事に取り組みようになつてきました。

小・中学校の事務職員は、地域によつてはたった1人本校では2人で総務・財務・経理など学校運営の基盤となる業務に多岐わたつて関わっています。正に「縁の下の

力持ち」として重要な役割を担うとともに、学校経営スタッフの一員として積極的に参画し、専門的立場から子どもの豊かな育ちに少しでも貢献できるように日々努めています。

学校では、毎日、様々な出来事や事件が起こります。けがをした児童、困っている先生、壊してしまった備品などを端を発した事は、私に対応することではないとしても、学校運営が円滑に行われるためにはどんな些細なことでも学校にとっては必要な仕事だと意識し、分掌担当者へ引き渡すことが肝要です。のり

例えば、放置されている備品、数が少なく困っている教材や物品などは身近な子どもたちが一番よく知つていて、彼らとコミュニケーションを図ることが有効な情報収集につながります。また、事務室には多くの子どもたちが顔を押しに来ます。その中はクラスになじみず孤立したり、配慮を必要としたりする児童がいる場合があります。担任と協力し、私が話し相手になることで、その児童の学校での居場所が確保され、学習活動に前向きになれると考えています。

学校の多忙化がなかなか解消されていない現状を踏まえ、教員が本来業務により専念できるように事務職員がサポートする役割が重要であるとされています。それは間接的であっても児童生徒の学校生活を支えることにつながるでしょう。明日からは私は自身の仕事を着実に積み重ね、後輩から頼られる先輩を目指します。そして三島市での学校事務の共同実施組織の一員としての役割も果たしつつ、自校の学校経営を支える職員の一になるよう努力していきます。



教員の事務処理を支援

## 子ども短歌 vol.1 輝き発見!

仕事に追われ顔が引きつっていないですか?そんなときはこの歌を見てスマイル!

今年度、人権教育担当者研修会に参加した先生方が子どもたちの素晴らしい歌を詠んだ短歌を紹介します。

「お母さん...」  
「あつ間違えた...」  
と寄ってくる  
笑顔の子らとの  
ほのほとした  
「瞬(ひととき)」  
見つけ出せ  
子どもへの未知の  
可能性  
引き出し増やすは  
教師の仕事(いきが)



「ありがとう」  
またたのむねと  
それだけで  
ぱつと輝く  
さらさら笑顔

「教育政策課 人権教育推進室」



# ふのくに 芸術祭2012 美術展で高校生が快挙!



「復興」の前に思いを語る原先生、平野さん、大石さん、青島さん(左から)

9月15日から23日までクリエイト浜松を会場に開催した美術展。多くのお客様にお楽しみいただきました。応募総数348点の中から見事に静岡県芸術祭賞に輝いた4点のうち、県立天竜林業高校の先生と生徒による鉄製の彫刻作品「福労『復興』」が注目を集めました。東日本大震災の復興を

折り、4人で約半年かけて作り上げた。高さ約2m、重さ90kgの大作です。見逃した方は、優秀作品展で御覧いただけます。

会場	会期
コミュニティながいずみ	12/1(土)~6(木) 9:30~17:00 (最終日14:00まで、3日は休館)
静岡県立美術館	12/18(火)~24(月・祝) 10:00~17:30
御前崎市立図書館	H.25 1/8(火)~13(日) 9:00~17:00 (最終日15:00まで)

書道展 11月17日(土) 25日(日) 9時30分~17時 (最終日は14時まで、19時参加者募集集中!)

芸術の秋:見るもよし、作るもよし! 書道展 ワークショップ

11月17日(土)からは、静岡市民文化会館で書道展を開催します。約800点の応募作品のうち、審査で選ばれた約200点を展示予定です。また、会期中にはワークショップを行います。来年の干支「巳」「蛇」を、墨の濃淡や筆遣いを工夫しながら表現し、2013年のカレンダーを作ってみませんか?

11月17日(土)からは、静岡市民文化会館で書道展を開催します。約800点の応募作品のうち、審査で選ばれた約200点を展示予定です。

会場 静岡市民文化会館 展示室A・C ※入場無料

日時 11月23日(金・祝) 10時~12時 会場 静岡市民文化会館 第1会議室 対象 15歳以上 持ち物 書道用具一式 参加料 無料 定員 20人(定員になり次第締切・要事前申込み) 申込 県文化政策課 054(22)2254



体験学習の児童を見守る筆者

## 県埋蔵文化財センター 何をしているの?

子どもたちは、自分たちの通う学校の近くにある遺跡の話に耳をそばだて、また、火起こしや勾玉づくり、本物の土器に触れる体験などに目を輝かせています。もちろん当センターの業務はそれだけではありません。

財保護法に基づいてそれらを記録保存しなければなりません。記録保存の手順としては、①発掘作業、②資料整理作業を行い、遺物資料や遺構の図面などを基に、記録保存のまとめとなる報告書の刊行作業を行います。

発掘作業では、調査前の地形の記録を行った後、表面の土を除去するところから始まります。その後、遺構・遺物が認められる地層に達すると、その面を丁寧に削って昔の土器などに残した痕跡や土器などの遺物を探します。とても時間と手間のかかる作業です。

このような手順を踏んで資料化された遺構や土器・石器などの遺物を考古資料として良好な状態で保管していくことは当センターの大切な業務です。しかし、それだけでいいのでしょうか。

私たちの暮らすこの大地のほんの数メートル下には、何千年も何万年も昔に暮らしていた人々の痕跡が眠っています。悠久の眠りの中に思つて暮らしている私たちを、一度御覧ください。

現在、県立中央図書館において、常設展「古代からの贈り物」発掘調査から知る静岡県の歴史」を開催しています。是非一度御覧ください。

私たちが暮らすこの大地のほんの数メートル下には、何千年も何万年も昔に暮らしていた人々の痕跡が眠っています。悠久の眠りの中に思つて暮らしている私たちを、一度御覧ください。

「土器・石器」動物「ドク」開催 考古資料の中に描かれたどらられた動物をビッグアップし、人と動物の関わりについて視覚的に紹介しています。考古資料の動物園をぜひ御覧ください。

所長室に子どもたちの大きな挨拶の音が響いてきます。小学生が体験学習で埋蔵文化財センターを訪れているのです。当センターでは学校の先生方と連携して、社会科や総合学習の授業をサポートする活動を行って

守る 県内には約9000か所の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)が登録されています。国や県などの公共事業等(土木工事や建設工事等)に伴い、遺跡が破壊される恐れのある場合、文化

資料整理作業では、発掘作業で作成した図面や写真などの記録類と土器などの出土遺物の整理を行います。出土した遺物

これらの埋蔵文化財を積極的に公開・展示することで、地域固有の文化に誇りと愛着を持つ心を育てること、文化財の価値を未来につなげていくことは何より重要だと考えます。

私たちが暮らすこの大地のほんの数メートル下には、何千年も何万年も昔に暮らしていた人々の痕跡が眠っています。悠久の眠りの中に思つて暮らしている私たちを、一度御覧ください。

埋蔵文化財を楽しく! ~古代体験学習の御紹介~

古代体験学習は、当センターでの実施のほか、センター職員が同う出前授業もあります。器具の貸出しもできますので、お気軽に御相談ください。

こちらもお見逃しなく!「古代からの贈り物」展 県立中央図書館で開催中の当センター常設展「古代からの贈り物」展も開

みなさまの御来場をお待ちしています。 問い合わせ 県埋蔵文化財センター 054(22)4261

## 授業で使えると好評 「環境学習プログラム集」

県では、県教育委員会と連携し、「持続可能な社会の構築に主体的に参画できる人づくり」を環境教育の基本目標とし、発達段階ごとに目指す目標を定めて環境教育を推進しています。このたび、多くの教育関係者の御協力をいただき、小中学校の教職員が授業において環境教育を実践するときの参考となる「小中学校で使える環境学習プログラム」を作成しました。

- 収録プログラムの特徴
- 県内で使われている教科書に対応 作成に当たっては、県内の小中学校で使われている教科書を事前に調査しました。
  - 新学習指導要領に対応 「環境教育の充実」や「各教科や総合的な学習の時間等で学習内容と関連付けながら環境教育を実施すること」など新学習指導要領に対応する内容となっています。
  - 「教科の単元内容」と「環境教育」の関連付けを掲載 学習のねらいや展開例、参考資料、指導時に活用できるワークシート等も掲載しました。
  - 1事例をA3版(1~2枚)で簡潔に収録 構成は、「小学校低学年編」「小学校中学年編」「小学校高学年編」及び「中学校編」の4編で構成し、各編に10本のプログラム(4編合計で40本)を収録しました。

「使いやすい」との声が続々と多くの教職員に活用してもらえよう、4月に県内の全ての公立、私立の小中学校へ本冊子を配布しました。実際に活用された先生からは、「これまでのプログラム集よりも工夫されている」「使いやすい」などの声もいただいています。

今後、このプログラム集が、小中学校の授業においてより活用され、環境教育が推進されることで、子どもたちの環境保全に対する基礎的な能力・資質・態度等が養われることを期待します。

小学校低学年	小学校中学年
自然発見ビュウ	ソーラーパワーでライトタイム
虫むしマップをつくらう	未来の道具を发明しよう!
自然の神の3・4・5	発見!わたしのまじの世界遺産
葉っぱじゃんけん	葉っぱのグラデューション
虫のぼうしをつくらう	のぞき!いきもの名探偵
自然のにおいさがし	みんなでのびろびろ
お宝さがし	みんなの工夫でかへらそう!!
虫たちの冬ごもり	作れ!バックで再生紙を作ってみよう
お宝つめんどろくろく	ごみリサイクル3Rの道も一歩から
風の力を使ってみよう	水の惑星の真実



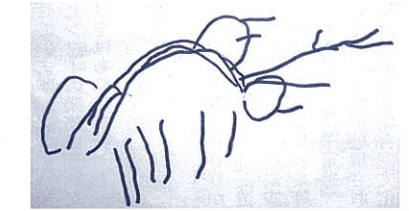
校外での体験学習 環境ふれあい課 054(22)2919



みずみずAngle

子どもの絵の魅力

絵から聞こえてくる
子どもの声を聞こう



子どもが描いた絵には、その子なりの思いが込められていて... 子どもの絵を見るたびに大人はどきどき、これは何だろう、何を表したかったのか、全体から表現内容を捉えようとしていきます。

【東部支援班】

観音山アウトドア教室
~初級青少年指導者養成研修会~

中学生と高校生を対象に、野外活動に必要な知識や技能を修得するための研修会を開催します。修了後には、静岡県初級青少年指導者として認定されます。

日時 平成25年1月12日(土)~14日(月・祝) (2泊3日)
対象 中学生、高校生(定員なし)
参加費 5,000円
申込受付 平成24年11月26日(月)~12月17日(月)



観音山少年自然の家

ここに家族 手作りでお正月



家族で力を合わせて、一對のミニ門松を作ってみませんか。少し難しいところもありますが、家族で協力して作り上げたときの喜びは格別です。

◇期日 平成24年12月15日(土)~16日(日) (1泊2日)
◇内容 ミニ門松作り、餅つき、ふれあいパーティー
◇定員(対象) 17家族まで(家族単位での参加)
◇参加費 小学生以上 3,900円
3歳~小学校入学前 2,900円
3歳未満 1,100円
※このほかに 門松材料費 1,700円
通信費・紙代 100円(1家族あたり)
◇申し込み 11月30日(金)17時までに電話にて。
※応募多数の場合は抽選

問 県立焼津青少年の家 054(624)4675

子どもの絵を見るたびに大人はどきどき、これは何だろう、何を表したかったのか、全体から表現内容を捉えようとしていきます。

子どもは、画面一杯に走らせた線を見ながら話ができます。これは、自分が描いた線の一本一本に、その子ならではの思いが込められているからです。

実際に描かれた線をたどっていき、「夏休みにたくさん遊んだカブトムシ」を描いたことが見えます。

この男の子は、昨年まで持てなかつたカブトムシが、今年は持てるようになったことがとてもうれしかったのです。

次回は、幼稚園に通う4歳の男の子が「夏休みの思い出」をテーマに描いた絵です。

マネートラブルにかつ! vol.1
架空請求 リターンはNO!

漫画形式の解説記事。架空請求のリターンはNO!、消費者ホットライン0570-064-370、県民生活課054(221)2257。

犯罪被害者を支える
社会づくりを目指して

「支えあう心の絆あなただから」
犯罪被害者とその御家族の現状
犯罪被害者やその御家族・御遺族は、突然予期せぬ暴力や交通事故に遭い、命を奪われる、けがをするなどの直接的被害だけでなく、被害後に生じる様々な問題(二次的被害)に苦しめられています。

「私たちができること」
被害者が置かれた状況は一人一人異なり、当事者でなければ理解できないこともたくさんあります。こうした中、私たちはどのようなことができるのでしょうか。

「私たちができること」
被害者が置かれた状況は一人一人異なり、当事者でなければ理解できないこともたくさんあります。こうした中、私たちはどのようなことができるのでしょうか。

EDITOR

「母さん、あんなに可愛かった」
「母さん、あんなに可愛かった」
「母さん、あんなに可愛かった」

「私のお父さん、あんなに可愛かった」
「私のお父さん、あんなに可愛かった」
「私のお父さん、あんなに可愛かった」

GRANSHIP 観阿弥生誕680年世阿弥生誕630年
「グランシップ静岡能」
1/27日(日)14:00~
演目:能「俊寛」「船弁慶」「狂言「薩摩守」